

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月10日 (2011.2.10)

【公開番号】特開2009-204814(P2009-204814A)

【公開日】平成21年9月10日 (2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-036

【出願番号】特願2008-46083(P2008-46083)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/167 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/34 C

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 1 D

G 0 2 F 1/167

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月21日 (2010.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の画素を有する表示装置に供給された第 1 の画像データを消去する第 1 の消去ステップおよび前記表示装置に第 2 の画像データを供給する書き込みステップを含む書き換え処理を行う書き換え手段と、

前記複数の画素の各々について、当該画素に所定の電圧が印加された時間に関するパラメータを測定する測定手段と、

前記測定手段により測定されたパラメータを各画素について記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されたパラメータがしきい値を超えた場合、当該しきい値を超えたパラメータに対応する画素については前記書き換え処理を行わないように前記書き換え手段を制御する制御手段と

を有する画像書き換え制御装置。

【請求項 2】

前記表示装置が有する画素のうち前記書き換え処理を行わない画素の割合がしきい値を超えた場合、前記制御手段は、前記第 1 の消去ステップよりも長い期間をかけて前記表示装置から前記第 1 の画像データを消去する第 2 の消去ステップを含みリフレッシュ処理を行うように前記書き換え手段を制御する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像書き換え制御装置。

【請求項 3】

前記表示装置が有する画素のうちの画素について連続して前記書き換え処理を行わなかった回数がしきい値を超えた場合、前記制御手段は、前記第 1 の消去ステップよりも長い期間をかけて前記表示装置から前記第 1 の画像データを消去する第 2 の消去ステップを含みリフレッシュ処理を行うように前記書き換え手段を制御する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像書き換え制御装置。

【請求項 4】

前記パラメータは、前記各画素において同一階調の表示が連続した回数を示すことを特徴とする請求項 1 - 3 のいずれかの項に記載の画像書き換え制御装置。

【請求項 5】

前記パラメータは、前記各画素において同一極性の電圧の印加が連続した時間を示すことを特徴とする請求項 1 - 3 のいずれかの項に記載の画像書き換え制御装置。

【請求項 6】

前記パラメータは、前記各画素において過去の所定回数の表示に対して所定の階調が表示された割合を示す

ことを特徴とする請求項 1 - 3 のいずれかの項に記載の画像書き換え制御装置。

【請求項 7】

前記パラメータは、前記各画素において過去の所定時間の電圧印加に対して所定の電圧が印加された時間の割合を示す

ことを特徴とする請求項 1 - 3 のいずれかの項に記載の画像書き換え制御装置。

【請求項 8】

請求項 1 - 7 のいずれかの項に記載の画像書き換え制御装置と、
前記画像書き換え制御装置により駆動される前記表示装置と
を有する情報表示装置。